

自営就農を志す “あなた”へのご提案

令和7年度版

～ 担い手育成協定制度 ～



島根県では
農業法人等で働きながら
キャリアアップして
独立・自営就農を目指す方を
応援します！

公益財団法人しまね農業振興公社

島根県農林水産部農業経営課

令和7年10月

県内外の自営就農希望者・農林大学校生 等

★協定経営体（研修受入先）の選定ポイント★

栽培品目、栽培方法（有機JAS等）、収益性、就農地域、居住・生活環境 等

島根担い手育成協定の協定経営体とは

自営就農者育成のための研修を以下により実施

- ◆年間を通じて農業を行っている
- ◆研修体制が整っている
- ◆研修生の受入実績がある
- ◆年間概ね1,200時間以上の研修が実施できる
- ◆原則2年に1人以上の自営就農者の育成を目標とする
- ◆自営就農者育成計画を作成する



協定経営体（研修先）による支援の例

- 知識、技術の伝授
- 就農計画づくりの助言
- 補助事業、融資の助言
- 市町等の担当者の紹介
- 生産資材等の共同購入
- 農地等の紹介（のれん分け）
- 販売先の紹介、共同販売
- 機械・施設等の利用 等

※経営体によって支援内容は異なります

実践的研修を通じたキャリアアップ

新規就農者の誕生！



【協定経営体（研修受入先）への支援事業】

事業名	事業内容	助成内容	留意点
ハウス等整備事業 (地域研修用ハウス整備型)	「島根県地域研修制度」に定める研修対象者の受入れのために必要なハウス整備費を助成	県補助率 1/4 補助上限額 1,000万円	・「島根県地域研修制度」を実施する受入経営体に限る ・研修対象者を受入中又は受入が確実なこと
自営就農志向者受入促進事業 (ソフト支援・ハード支援)	「島根県地域研修制度」に定める研修対象者の研修指導やフォローアップに対する費用弁償	3万円/人・月	
	研修生を受け入れる上で必要な施設、機械等の整備費を助成	県補助率 1/3 補助上限額 333万円	

協定経営体の概要（令和7年10月末現在）

市町村名	協定経営体名	主な経営品目（令和7年10月現在）
安来市	イオンアグリ創造株式会社	キャベツ、ブロッコリー、イチゴ、スイートコーン
	農事組合法人安田ファーム	水稻、アスパラガス
松江市	由志園アグリファーム株式会社	牡丹、雲州人参、そば、南瓜、じゃがいも
	有限会社安藤農園	メロン、ミニトマト、きゅうり、いちご 外
	野津農園	キャベツ、津田かぶ
雲南市	佐藤祐治	水稻（有機栽培）
	GEAR FARM	果樹（ぶどう）
	農事組合法人三代原ファーム	水稻、アスパラガス
	みどりちゃん委員会	水耕野菜（ネギ、薬物）
奥出雲町 美郷町	株式会社アグリベスト	奥出雲農園：トマト 美郷農園：ミニトマト、スナッペンドウ
奥出雲町	農事組合法人中国牧場	繁殖和牛、肥育牛
飯南町	株式会社来島牧場	乳用牛
出雲市	JAIいずもアグリ開発株式会社	ぶどう、水稻、植物工場（薬物野菜）
	株式会社おかずくらぶ	きゅうり、カブ、大根、薬物野菜、神在ねぎ、スイートコーン
	神田農産株式会社	アスパラガス、きゅうり、薬物野菜、神在ねぎ、ブロッコリー
	株式会社勝部農産	水稻、大麦、大豆、あずっこ
	株式会社岡農産	ブロッコリー、タマネギ、飼料用稲、デントコーン、水稻（主食用）
	玉木農園	野菜苗、ミニトマト、その他野菜
	iaiファーム株式会社	デラウェア、シャインマスカット、神紅 他4品種、ワイン用品種、サツマイモ
	今若暖生	アスパラガス、神在ねぎ
	星野博	アスパラガス
	合同会社 Shimane Flower Lab	鉢花
大田市	有限会社島根農場	繁殖和牛、肥育牛
	西谷牧場	乳用牛、繁殖和牛
	株式会社わなか	水稻、いちご、切り花（花卉）、メロン
	特定農業法人ファーム浮布株式会社	水稻（有機JAS認証含む）
江津市	石見銀山アスパラガス生産組合	アスパラガス（+アスパラガス生産組合が生産するその他の品目）
	香の宮F&A	有機野菜
	株式会社MOGMOG	水稻（飼料用稲を含む）、イチゴ
浜田市	有限会社ふるさと支援センターめぐみ	水稻、大豆、たまねぎ、施設野菜（ミニトマト、ピーマン、キュウリ 他）
	有限会社佐々木農場	施設野菜（ほうれん草、小松菜等）、露地栽培（ほうれん草） 他
	有限会社やさか共同農場	水稻、大豆、露地栽培（加工用トマト等）、施設野菜（ほうれん草、小松菜等）
	株式会社みうらファーム	施設野菜（ほうれん草、小松菜等）、露地栽培（ほうれん草、ピーマン、里芋等）
	株式会社三島ファーム	施設野菜（ほうれん草、小松菜等）、露地栽培（さつまいも、ニンジン等）
	株式会社小松ファーム	施設野菜（こまつな、ほうれん草等）、露地栽培（だいこん、ピーマン等）
益田市	株式会社藤若農産	水稻、ぶどう、サラダごぼう
	株式会社中下農園	ぶどう（ピオーネ、シャインマスカット、神紅）、大豆、水稻
	株式会社佐々木牧場	繁殖和牛
	有限会社アグリみと	イチゴ、ベビーリーフ
	株式会社松永牧場	繁殖和牛、肥育牛
	株式会社椋木畜産	繁殖和牛、肥育牛
益田市	株式会社田原牧場	繁殖和牛、飼料作物
	澁谷陽平	施設園芸（メロン、トマト、ほうれん草等）、露地野菜（キャベツ、ブロッコリー、カボチャ他）
	株式会社LOCAL_RICH3in	デラウェア、シャインマスカット、ピオーネ、神紅
	農事組合法人京村牧場	繁殖和牛、肥育牛
津和野町	株式会社フロンティア日原	ワサビ、ミニトマト
隠岐の島町	株式会社だんだん牧場	繁殖和牛

担い手育成協定制度を活用した 就農までの流れ

相談会で情報をGET！ 島根県での現地見学を支援します

就農相談会

東京や大阪等を中心に開催される就農相談会では、具体的な就農情報や受入経営体の求人情報等を収集できます！
またオンラインによる相談にも対応しています！

就農パッケージによる提案

各地域で就農希望者を募集している振興品目や住居等の生活情報を紹介しています。
※各地域のパッケージはしまね農業振興公社HPに掲載しています。

【県】しまね農業体験プログラム

希望に応じたオーダーメイド方式の現地見学や農業体験が可能です。

〈日程〉1泊2日～2泊3日
〈助成〉宿泊費、旅行保険への助成があり、就農相談員が体験プログラム中の案内を行います。

相談

就農を希望

受入経営体とのマッチング

担い手育成経営体での雇用・長期体験を希望の際は、事前に「農業体験プログラム」等で経営体を訪問いただき、経営体へのマッチングを行います。就農相談員及び各市町村が仲介を行いますので、ご相談ください。

体験・研修

担い手育成経営体での農業体験や研修を受け、農業への適性を判断

【県】Uターンしまね産業体験事業

県外在住者が受入経営体で農業等の体験を行う場合の滞在経費を助成

〈対象者〉県外在住のUターン希望者
〈助成期間〉3ヶ月以上1年以内
〈助成額〉体験者助成金 12万円/月
親子連れ加算（1世帯）3万円/月

島根県立農林大学校で学ぶ

2年制と社会人向け1年コースがあり、農業の基礎を身につけた後、協定経営体へ雇用就農することも可能です。

※経営体によっては、採用に当たり必要な資格等が必要な場合があります。

【国】就農準備資金

〈対象者〉就農時50歳未満で研修を受ける方
〈助成内容〉12.5万円/月 最長2年間

【県】農業人材投資資金（準備型）

〈対象者〉就農時50歳以上で研修を受ける方等
〈助成内容〉Uターン者12万円/月
県内在住者6万円/月
最長1年間

体験・研修
終了

雇用契約への本面接

体験・研修終了後、引き続き受入経営体のもとで雇用を希望される場合は採用面接があります。体験中の勤務姿勢や就農への意欲などが加味され、採用の可否が決まります。

雇用
就農

担い手育成経営体で働きながら、独立に向けた農業技術や経営ノウハウを習得

担い手育成経営体で働く

自営就農希望者への支援の意向がある経営体で雇用されながら、経営スキルや農業技術の習得等を目指します。

※経営体によって
・給与や福利厚生、労働環境
・1年～数年の期間の定めがある期限付雇用
などの雇用条件が違います。
※経営体によっては【国】雇用就農資金を活用します。



【県】農林大学校特別集中講義

独立・自営に必要なスキル、知識を学ぶ研修会を開催。

〈場所〉島根県立農林大学校
〈内容〉経営力、マーケティングなど

※オンラインによる受講も可能

協定経営体の最新情報はここから

1～数年間の
独立準備

独立準備

独立・自営就農には「就農計画」「農地」「資金」「農業機械施設」「体力」「販売先」などの準備が必要です。働きながら、関係機関のサポートを受けつつ、独立に向けた自身の経営のための準備を行います。

独立
自営

各種支援で、独立初期の農業経営をサポートします！

【国】経営開始資金

〈対象者〉就農時50歳未満の
認定新規就農者
〈助成内容〉12.5万円/月 最長3年間

【県】農業人材投資事業（経営開始型）

〈対象者〉就農時50歳以上の
認定新規就農者
〈助成内容〉72万円/年 最長2年間

【国】経営発展支援事業 【県】自営就農開始支援事業 【県】ハウス等整備事業

農業経営に必要な施設・機械等の整備に対する助成

就農・雇用・移住
まずはご相談下さい！

公益財団法人しまね農業振興公社

住所：島根県松江市黒田町432-1

T E L：0852-20-2872

しまね就農
支援サイト



担い手育成経営体での雇用研修等により自営就農された事例紹介



出雲市 岩谷隼汰さん

就農のきっかけ	・高校時代のぶどう園でのアルバイト経験。		
就農までの主な経緯	【島根県立農林大学校】 （H28.4～H30.3、2年間） ・関係機関の勧めで高校から果樹専攻へ入学し、ぶどうを中心に果樹について学ぶ。 【協定経営体での雇用研修】 （H30.4～R3.3、3年間） ・農林大学校在学中、農家留学研修の受入先であった協定経営体のＪＡいずもアグリ開発（株）へ独立就農を前提に雇用就農し、実践経験を積み重ねる。 【就農開始】 （R3.4～） ・ＪＡいずもアグリ開発（株）のリースハウス（約10a）を暖簾分けにより借入利用するとともに、親戚のぶどう園も取得して自営就農を開始。		
現在の経営概況・主な販売先	・ぶどうパイプハウス 約40a（苗木育成ハウス10aを含む） ・ぶどうの品種はすべてシャインマスカット（無加温）で、一部2重被覆栽培。主な販売先はＪＡ。		
研修で良かったこと等	◆島根県立農林大学校 ・確定申告に必要な決算書の作成等、経営管理に重要な農業簿記演習が役立った。 ・少人数の実習だったので、作業内容を予想し、準備すべきもの等を同級生と相談しながら自発的に段取りを考えたことが役立った。（自分で考え行動する習慣づくりが重要） ・面積は小さくても管理を任せてもらえる実習経験が有効だった。 ・ハウスの修繕実習が役立った。 ◆雇用研修 ・自分が借り受けることとなるハウス管理を全て任せてもらえ、収量向上のための改善や工夫を試せたこと。 ・様々な人との人脈づくりができたこと。（部会活動等への参加）		
就農希望者へ伝えたいこと	・経営について学んでおくこと、就農に必要な資金の準備を早い段階から検討すべき。 ・施設の修繕等に予想外の費用がかかる等、資金繰りにも常に留意しなければならない他、気象の影響等による収穫期のずれへの対応が必要。 ・研修期間中から関係機関（市町村、県、ＪＡ等）の担当者と関わっておくことが農地、資金、施設整備等の点で有効。 ・就農予定地の農地の条件（地力、排水性、障害物の有無等）を把握しておくこと。 ・栽培作物が違う農業者からも有効な情報等が得られることもあり、積極的な交流、コミュニケーションづくりが望ましい。		
研修先（協定経営体）の概要	ＪＡいずもアグリ開発株式会社		
	代表者	代表取締役 藤江美由紀	研修可能品目
	所在地	出雲市今市町106-1	
	従業員数	常雇用 30名 臨時雇用 4名	研修内容
	研修可能な品目	ぶどう 170a 水稲 41ha 植物工場（野菜） 90a	
		ぶどう、水稲、野菜（養液栽培システム）	
		栽培技術研修（実習） JAと連携した経営指導 独立自営就農に向けた相談（就農計画作成支援等） GAP取得 等	



浜田市 門本尚久さん

就農のきっかけ	・広島県内で看護師として働きながら小規模の野菜作りを体験し、農業へ興味を抱く。（もともと「物づくり」をしたいという気持ちがあった。）		
就農までの主な経緯	【協定経営体での産業体験】 （R3.10～R4.9、1年間） ・広島市内で開催された産業フェアの相談をきっかけにUターンを決断。浜田市からの紹介で協定経営体の（株）小松ファームで野菜栽培を体験。 【島根県立農林大学校】 （R4.10～R5.9、1年間） ・農業の基礎知識や就農方法、経営等を学ぶため、県からの勧めで短期養成コースに入学。地域研修制度を活用してオンラインによる座学を受講。 【就農開始】 （R5.10～） ・（株）小松ファームのハウスや機械等を借り、葉物野菜栽培による自営就農を開始。		
現在の経営概況・主な販売先	・施設野菜11a（小松菜、水菜等）、露地野菜34a（大根、人参） ・商品の6割は（株）小松ファームを通じて販売し、残りは地元の青果市場、スーパー。		
研修で良かった点等	◆産業体験 ・有機栽培の素晴らしさや魅力がわかり、自営就農で取り組む価値のある農業として実感できたこと。 ・播種作業に始まりハウス管理まで任せてもらえ、自信に繋がったこと。 ・研修先の支援により施設・機械整備に伴う大きな負担がなく、販売先の心配もなく就農できたこと。 ◆島根県立農林大学校短期養成コース ・就農に必要な基礎知識や技術、経営方法等を修得でき、就農後でもわからないことがあれば大学校へ聞きやすいこと。		
就農希望者へ伝えたいこと	・初めは「わからないこと」がわからない状況だった。農業をやるためには基礎的なこと（植物生理等）をしっかり理解しておくことが必要。 ・何事にも興味、関心を持ち、自ら積極的に調べる等の姿勢が必要。 ・研修を受ける前年に前職の収入（給与や退職金等）があると、それに応じた住民税がかかり、研修期間であっても国民健康保険料、国民年金の掛金を納付しなければならないことに留意が必要。		
研修先（協定経営体）の概要	株式会社小松ファーム		
	代表者	代表取締役 小松原 修	研修可能品目
	所在地	浜田市弥栄町小坂332-2	
	従業員数	常雇用 8人 臨時雇用 6人	研修内容
	研修可能な品目	施設野菜（こまつな、ほうれんそう等） 111a 露地栽培（だいこん、ピーマン等） 90a	
		施設野菜（こまつな、ほうれんそう等） 露地栽培（だいこん、ピーマン等）	
		栽培の技術指導 有機JAS認証、GAPの取得指導 経営面の指導 （農林大学校特別集中講義も活用） 独立自営就農に向けた相談	